

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（岡山大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために
行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

オンライン授業を行うための教職員向けシステム講習会【令和2年度】

オンライン授業の実施に当たり、e-ラーニング用プラットフォーム「Moodle」を利用した資料や動画のアップロード、小テストの実施やその採点の方法のほか、チャットやビデオ会議システムを利用したリアルタイムでの授業の実施方法などについて説明を行った。

オンライン授業の検証【令和2年度】

令和2年7月、オンライン授業の検証のため、学生及び教員にアンケートを実施した。その結果を受け、「オンライン授業実施のための注意事項」を改訂し授業担当教員に周知するとともに、Edtechサポートオフィス授業実施支援チームを設置し、オンライン授業の準備や実施のための相談対応、各種アプリケーションに関する情報発信、研修の実施などを行い、オンライン授業の改善を図った。

令和3年2月、再度、オンライン授業の検証のため、同様のアンケートを実施し、一定の改善が見られることを確認するとともに、継続して取り組んでいる。

研究BCPの取組【令和2年度】

本学では、令和2年4月より「緊急事態が発生しても、重要な研究は中断しない、中断してもすみやかに研究を再開する」というBCP（業務継続計画）発動の準備を進めてきた。

一部の大学院研究科での試行を経て、国の方針が感染防止策と社会経済活動の両立に変わった5月に、RA（リスクアセスメント）、BIA（業務インパクト分析）、BCS（業務継続戦略）の一連の業務継続戦略策定プロセスを活用した研究BCPを発動し、大学院生の研究維持活動・研究活動の早期再開を実現することができた。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

学生とのオンライン懇談会の実施【令和2年度】

学長等が理系大学院生や学部生と遠隔会議システムを利用して懇談会を開催し、学生の声をコロナ禍における教育研究体制の構築に活用した。

岡山大学学生生活支援パッケージ【令和2年度】

既存の支援の拡充と、学生同士の自主的な活動への支援、学内ワークスタディの拡充、就職活動の学生への支援の新たな支援を含めた学生生活支援パッケージ(総合的な学生生活支援：①経済的支援、②学生の主体的活動等への支援、③授業料納付期限の延長、④オンライン授業受講への支援、⑤就職活動支援、⑥メンタルヘルス相談、学生生活相談の充実)を策定し、継続的な学生生活を支援した。

学生（留学生を含む）への食糧支援【令和2年度】

1. 教職員による留学生への食糧支援（11/2・11/4留学生へ配付）
2. 株式会社林原による留学生への食糧支援（11/17・11/18留学生へ配付）
3. 勝田郡勝央町有志、農学部附属山陽圏フィールド科学センターからの留学生への食糧支援（12/23留学生へ配付）
4. JA岡山中央会から学生へ県産米の支援（2月8日～2月10日の3日間、大学生協の食堂にてライス単品（延べ4,180食人分）を無料で提供）

医療系学生への経済支援【令和2年度～】

本学の医療系部局（医学部・歯学部・薬学部・医歯薬学総合研究科）では、医学部後援会、医療系教職員等からの寄付金を原資として、生活一時金の給付、実習用マスクの支給により、マスク不足の解消（マスク購入費の軽減）を図り、感染低リスクのアルバイトへの変更や、アルバイト中止をせざるを得なくなった学生、経済的困窮学生に対しての生活支援を行っている。

令和2年度：5万円×94人給付、令和3年度（現時点）5万円×125人、3万円×42人給付

令和2年度：50枚入りマスク約1,600箱購入

課外活動支援【令和2年度】

- ・公認サークルの各部室、練習場等に手指消毒用アルコールの購入・設置し、コロナウイルス感染防止に寄与した。
- ・学内環境の整備に協力した学生に、QUOカードを配布することで、アルバイトの収入が減少した学生の生活支援を行った。
- ・緊急事態宣言等の発令により、急遽、遠征・対外試合が中止となり、宿泊料のキャンセル料が発生した事例に対し、校友会費の予算より、キャンセル料の補助を行った。

図書館の対応について【令和2年度】

休館等により、通常のサービスを利用できていない学生に対し、学外から利用できる電子リソース（電子ジャーナル等）の利用方法や期間限定コンテンツ等の情報提供を行った。

また、各部局のオンライン授業において、文献検索やアカデミックライティングの教材を提供した。

コロナがなんじゃ！WIN&WIN学生プロジェクト【令和2～3年度】

コロナ禍により十分な食生活が保障されていない学生と、十分な顧客確保ができていない地域の飲食店を繋ぐ学生発案プロジェクトを実施した。大学が資金面をサポートし、地域の飲食店からお弁当を購入し、各年度約4000食を学生に配布した。

大学拠点接種の実施【令和3年度】

オンライン授業をはじめ、実習や留学、課外活動、友人との交流などにおいて多くの自粛・我慢を求められてきた学生の希望者に対して、ワクチン接種を行った。

学生寮クラスター防止強化事業【令和3年度】

学生寮（女子寮）の学生が、濃厚接触者に指定された場合、速やかにホテルへ移動させ、保健所からの指示期間中（約1週間～2週間）のホテル宿泊経費について支援する仕組みを整備することで、学生寮内でのクラスター発生防止強化、女子寮生の経済的負担軽減につなげている。

学内ワークスタディ事業の雇用対象者拡大【令和3年度】

これまで、国の予算制度上、ワークスタディの雇用対象者とならなかった留学生、大学院生について、大学への寄付金（学都基金）を活用し、雇用を確保することで、経済的に困難な状況に置かれている当該学生の学生生活維持に貢献している。